

科目名	中小企業論				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	渡邊 学				
内容および計画	本講座は、日本の企業数の99%以上を占める中小企業を対象とし、その特徴や経済的、社会的役割について学習します。特に近年、高い技術力を持つ中小企業がイノベーションを牽引する事例に注目が集まる中、一方では後継者問題から廃業に追い込まれる事例も多くみられます。本講座では、大企業と中小企業との関係や、国の中小企業政策、海外中小企業との比較、中小企業間のネットワークなど多面的な視点から中小企業を捉える目を養い、中小企業の多様性について理解を深めます。				
1	ガイダンス（授業の進め方、評価方法、受講者の関心等）、中小企業の調べ方				
2	中小企業とイノベーション				
3	日本経済と中小企業				
4	国と自治体の中小企業政策				
5	大企業と中小企業				
6	下請けシステム				
7	海外の中小企業				
8	これまでのまとめ（中間試験）				
9	国際化と中小企業				
10	事業継承と中小企業				
11	地域経済と中小企業				
12	産業集積とネットワーク				
13	中小企業金融				
14	企業と経済活性化				
15	ベンチャー企業				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『中小企業・ベンチャー企業論』	植田浩史他著	有斐閣	9784641164314	2014
その他、講義資料・データ等を配布します。					
参考書	『21世紀中小企業論〔第4版〕』渡辺 幸男他著（有斐閣 2022年）				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
	筆記試験（中間試験・期末試験）			65	
	課題レポート（2回）			20	
	授業への積極的な関与（出席、発言等）			15	
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験は、中間と期末に行います。 ・課題レポートを2回実施します。 ・各回出席状況を確認します。 					
学習到達目標	・中小企業についての基礎知識を習得すること。				

	・高い業績を挙げる中小企業の戦略組織について、自分なりの考えが持てるようになること。
先修条件	特になし。
実務経験	実務経験あり：製造業に20年勤務、品質管理、生産技術を経て最終的には工場長として工場マネジメントに従事しました。その後中小企業診断士事務所を開業し、企業の経営支援に従事しています（8年～現在進行中）。教科書だけでは学べない「経営や会社経営の現状」を、実体験を交えて説明することで中小企業経営の大切さを教授します。
その他	授業では、テーマに沿った事例を示して補足説明します。受講者の習熟度合と進行状況によりグループワーク（ディスカッション）、アンケート、映像教材を活用した講義を実施する場合があります。